



2019～2020

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH

例会日/毎火曜日

例会場/都シティ津 津市大門7-15

事務所/津市大門10-7

ピッチャーズビル2階

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/今野信太郎

幹事/樋口直人

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/



第2596回例会 2020年2月18日(火) 天候 晴

— 2月は平和と紛争予防/紛争解決月間 —



例会予定

- 2月25日(火) 外来卓話
榊アグリー 代表取締役 井上 早織様
- 3月3日(火) 外来卓話
津市水道局 水道総務課長 中西 友幸様
- 3月10日(火) 会員卓話 大熊 将弘会員
- 3月17日(火) 会長エレクトセミナー報告
何川 高 会長エレクト

進行担当

[西井副SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング 四つのテスト

来訪者

[今野会長]

津北RC 杉本 治君

出席報告

[羽根委員長]

2月18日 出席率 47名中 37名 78.72%

1月28日 修正出席率 47名中 41名 87.23%

2月定例理事会報告

・ボッチャの件

承認

委員会報告《親睦委員会》

[千原委員長]

- 親睦家族旅行の件

ニコBOX

[野地委員]

杉本 治君 久しぶりにお邪魔します。宜しくお願いします。(津北RC)

今野信太郎君 ・清野会員、本日の卓話よろしくお願い致します。

・2月7日(金)社会奉仕・職業奉仕・SAAの各委員会の皆様、ファイアサイドお疲れ様でした。ありがとうございました。

樋口 直人君 本日は会員卓話です。清野会員よりお願いいたします。

会長報告

[今野会長]

- ◆ 本日は清野会員の卓話です。後程、よろしくお願い致します。
- ◆ 2022～23年度国際ロータリー第2630地区ガバナーノミニーに高橋伸治君(岐阜RC)指名決定宣言の報告が地区より届きました。
- ◆ 7日(金)は社会奉仕・職業奉仕・SAAの委員会合同でのファイアサイドミーティングを開催致しました。活発な協議を頂き、この場をお借りしまして、感謝申し上げます。
- ◆ ロータリーと歌の話題です。日本のロータリークラブではほとんどが例会で歌を歌っています。ロータリーでは初期の頃から歌を歌っており、1905年のある秋のこと、クラブ運営方針を巡って険悪なムードが常態化し解散の危機となっていたある日の例会で、ハリー・ラグルスが「おい、みんな歌おう!」と発声し、例会毎に何曲か歌っているうちにやがてクラブは親睦をとりもどしたと言われています。日本では昭和8年、京都RCに右翼の壮士一団が押しかけたが、時の会長石川芳次郎氏は「ロータリークラブは世界的な組織であり、私たちは皆、良質な職業人です。職業を通じて世のため人の為に動いているので、決して国の利益に反することではありません」と言ったのですが、納得してもらえず、「証を立てろ!」と言われた。そこで石川会長は、証を立てるために2つの条件を提示しました。例会で「君が代」斉唱と「日の丸」掲揚することでありました。それが現在も受け継がれています。

幹事報告

[樋口幹事]

- ★ 本日、例会終了後定例理事会開催の件
- ★ 4月9日(木)津・四RC合同夜間例会の件
- ★ ロータリー手帳購入の件
- ★ 例会変更 6件

伊藤 孝行君 本日の会員卓話、清野会員よろしく
お願いします。
村木 正二君 清野さん、本日卓話ご苦労様です！
林 裕行君 久しぶりに例会に出席させていただきました。
清野 純一君 清野さんの卓話楽しみです。
本日卓話、つたない話ですがよろしく
お願いします。

清野純一会員の卓話楽しみにしています。
栗田 明君、千原一典君、佐々木喬君、西井健之君
山田俊郎君、羽根昌江君、大池雅之君、今西孝彰君
大熊将弘君、澤田勝志君、田口浩司君、松田英明君
吉村哲夫君、飯田 聡君、岡部宏司君、岩井哲也君
山本哲也君、竹内敏明君、若井純朗君、伊藤歳恭君
吹戸研一君、野地洋彰君、伊藤 仁君、鈴木康義君
細山田誠二君、日南田隆司君

会員卓話

2025年問題とは 超高齢社会で起こりうる数々の問題

清野 純一 会員

2025年問題とは

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護などの社会保障費の増大が懸念される問題。団塊の世代が約2,200万人を超えると予想されており、国民の4人に1人が75歳以上という、超高齢社会に突入。

2025年問題の5つのポイント

①人口と労働力

後期高齢者の急増＋若い世代の減少＋少子高齢化の加速、つまり「労働力人口の減少」

労働力が減る＝経済成長率が鈍化、税収も減少。国民を支える社会保障費が不足し、さまざまな問題が発生。とくに日本の社会保障制度は、“現役世代”が負担して、高齢者を支える構図。

超高齢社会の到来における影響は深刻。

②医療

医療や介護サービスの利用が急増する中、病院や医師の数は減少傾向にあり、人手不足が深刻。

また、厚生労働省の推計によれば、2025年の医療保険給付は「総額54兆円」になる見通し。

③介護

2025年には、介護が必要な「要介護者」に認定されているにもかかわらず、施設に入所できない、適切な介護サービスを受けられないといった「介護難民」が急増。ご家族は在宅介護の必要性も増え、経済的負担だけでなく、介護疲れによる精神的負担も…。

厚生労働省の推計によると、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になり、要介護者が増える見通し。「介護人材の不足」「老老介護」「認認介護」が深刻な問題に…。

④社会保障費の増大

2025年には、社会保障費が「総額140兆円」を超える見通し。現役世代は減少、高齢者が増加。現役世代への負担は、ますます重く…。

⑤空き家・マンション問題

東京オリンピックを終えて5年後の2025年には、マンション需要が減退し、「空き家」が増加。

国土交通省によれば、2017年時点で築50年のマンションは全国に5.5万戸。2025年には30万戸超と推計。また、団塊の世代が75歳以上になる2025年頃から、本格的に相続件数が増え、空き家の売却も増加。

2025年問題の対策

①地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・予防」をトータルサポートする仕組み。地域包括支援センターには、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが配置され、地域に暮らす高齢者をサポート。

②医療・介護制度の改革

政府は「地域包括ケアの実現」と「在宅医療」を推進中。看護の機能強化として、「機能強化型訪問看護ステーション」の設置や「看護小規模多機能型居宅介護施設（かんたき）」の増設を検討しており、地域包括ケアの中核になると期待されている。

③人手不足の解消

政府は、再就職の支援を強化。また、介護ロボットやAIの開発などを推進中。これが実用化されれば、医師や看護師の人手不足を解消できると期待されている。

④病院から在宅へ

政府は、“病院から在宅へ”というビジョンを推進。来たる2025年に備えて、保健・医療・福祉制度の中心を「医療」から、「生活」を支援するケアを重視する方向へとシフト。病棟の削減もはじまり、在宅医療に高い診療報酬を設定している。

⑤その他…人口遷移論

今後は高齢者の増加はゆるやか。高齢化率上昇の原因は、若い世代の減少によるもの。長寿を願い、衛生環境や栄養状態、医療を進歩させてきた結果、社会は高齢化。人生100年時代を想定し、人口が安定する社会になったときの高齢化率は、40%程度で推移していく形がスタンダードになる見込み。今は、私達が目指してきた“長寿社会”に成熟する前の大変革期。その変革期を乗り越えれば、人口構造は一定の割合のまま長く続いていくことが予想されている。つまり、この人口構造に合った社会を創り上げることができれば、この先、100年、理論上では1000年先も安定した社会が持続可能に。高齢社会と言え、高齢者ばかりがあふれた暗い未来を想像しがちだが、そうとは限らないのではないか。見方を変えれば、その常識を打ち破る新しい「非常識力」を発揮し、理想の未来をデザインできる可能性があふれているとも考えられる。／

2025年問題のまとめ

日本は、世界に類をみないスピードで高齢化が進んでおり、超高齢社会の到来で起こる「2025年問題」は非常に深刻です。2025年問題の対策として国は、「自助努力」と「民間による地域支援」にシフトしているため、自分で対策をしておくことが必要になります。

例会変更のご案内

鈴鹿シティRC 3月4日（水）鈴鹿商工会議所にて 会場都合のため
※ビジター受付は、鈴鹿サーキットホテル1Fロビーにて18:30～19:00まで行います。
鈴鹿西RC 3月3日（火）→8日（日）10:30～ 鈴鹿商工会議所4F大ホールにて
2019年度鈴鹿市児童詩コンクール表彰式のため
3月24日（火）→21日（土）15:00～ コンフェット鈴鹿平安閣にて 創立35周年記念式典のため
※ビジター受付は、3日（火）・24日（火）鈴鹿商工会議所4Fにおいて12:00～12:30まで行います。
久居RC 3月9日（月）・23日（月）特別休会